

1410 | 造形学概論

2単位（通信授業2単位）

金子伸二教授

授業の概要と目標

造形にかかわる諸学についてその成立事情と問題意識を把握することを通して、造形研究の基本的な視座を獲得することを目的とする。授業では、近・現代日本における造形関連諸学の文献研究を行う。

課題の概要

○通信授業課題1

教科書の読解を踏まえて、美学、芸術学、美術史学等、造形関連諸学の成り立ちについて考える課題。

○通信授業課題2

近・現代日本における造形関連文献の精読を通して、造形と学問との関係について考える課題。

*課題については学習指導書『造形学概論 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書による。

- 第1章 美術の枠組み
- 第2章 美的経験と感覚
- 第3章 美をめぐる知識
- 第4章 芸術家という個性
- 第5章 純粹なる作品
- 第6章 生活からの離脱
- 第7章 美術と造形

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の該当部分を中心に出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「デザインリサーチI・II」の単位を修得していること（芸術文化学科各コース3年次編入学生を除く）。

[備考] 芸術文化学科造形研究コース3年次必修科目。
芸術文化学科文化支援コース3年次選択必修科目。

教材等

教科書：金子伸二『造形学概論』（武蔵野美術大学出版局 2004年）

学習指導書：『造形学概論 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）